

能登半島地震で志賀原発は危機一髪となりました。

福島原発事故から13年。多くの方が故郷に帰れず、甲状腺がんにおびえ、廃炉作業は一向に進まず、事故は「終わった」どころではありません。時がたつにつれて被害が深刻になるのが原発事故の特徴。福島の今を改めて聞いてください。

そして、原発なくそうと声をあげましょう。



## 講演

「事故から13年—こわされ続ける健康・くらし・ふるさと—」

講師：木村真三さん

獨協医科大学国際疫学研究室福島分室准教授  
福島被災地の線量調査など被害実態の調査に  
長年献身されています。

## 詩朗読と音楽

「私はあいちゃんのランドセル」

朗読 / 写真家・菊池和子さん

音楽 / 大島左千子さん

# 3.11 福島原発事故から13年 —こわされ続ける健康・くらし・ふるさと—

## 3月5日（火） 18時30分

### 大田区民ホールアプリコ・小ホール

参加費 800円

主催：戦争させない1000人委員会東京南部

お問い合わせ先：事務局・福石 090-1732-1058



JR 蒲田東口から3分

## 報告

浪江町津島地区原発訴訟原告・名児耶静枝さん  
「続く避難者による国と東電への責任追及」

3.11 子ども甲状腺がん裁判勉強会・小林正二さん  
「子どもたちの未来を奪う原発事故」

